

東地域まちづくり協議会だより 第3号

東地域の家庭・学校・地域社会のさらなる結びつきを目指して
子どもたち、大人のあいさつの広がりを通して
信頼と支え合う「絆」づくり！

8月6日（日）に実施した「東地域夏季ラジオ体操」では、大勢の方（約300名）に参加していただき、無事終えることができ、心から感謝申し上げます。

この行事は次年度以降も続け、東地域の夏の伝統行事として定着させていきたいと願っております。今年度の第1回目の企画・運営等に絶大なご支援・ご協力を賜りましたことに対して重ねて感謝申し上げます。この行事を通して、東地域に住む人々の一体感が確認され、心強く感じております。



さて、今号では、あいさつについて考えてみたいと思います。こ

のあいさつは、いつの時代でも・どこにいても最も大切な基本的で大切な生活習であり、あります。あいさつ「挨拶」の「挨」は「心を開く」、「拶」は「近づく」という意味があり、心を開いて相手に近づくというのがあいさつの本来の姿であると言われていいます。元プロ野球監督の野村克也氏は、「あいさつは人間らしく生きるための基本であり、大人にあいさつの心がないと、それは必ず子どもに表れる」と述べています。子どもたちに、心を開いたあいさつや会話を大人が行わなければ、例えば子どもが発信しているSOSを迅速・的確につかむことができません。

東地域では、まちづくり協議会を構成している、自治振興委員会、社会福祉協議会、老人会、防犯協会、比美乃江小学校や北部中学校地域安全協議会（朝の交通指導）と連携し、強いネットワークを構築し、あいさつ運動を推進していきたいと思っております。もちろん、子どもたちだけではなく、高齢者、本地域で暮らしているすべての人を対象にこのあいさつ運動を展開していきたいと考えております。

本市はもちろん日本のどの学校においても、「あいさつ」を目標として取り上げ、実践化に取り組んでいます。本地域の湊町には、「あいさつ通り」があり、文字通りあいさつ運動が展開されております。「衣食足りて礼節を知る」という

生き方は、社会で幅広く活躍し、これからの東地域を背負って立つ児童・生徒に身に付けてさせなければならない生活習慣であると思っております。ちょっとしたあいさつや声かけにより、大人と子どもの心のふれあいが深まるものです。「○

○さん、おはようございます」のように、名前や一言添えたあいさつは、より親しみが増すと考えられています。

～大人が変われば子どもは変わる～

家庭・学校・職場・地域の関係機関や諸団体が互いに統一的な取り組みを行うことにより、この当たり前であるはずなのに実現が困難なあいさつ運動を推進することは、地域力アップの前提条件であり、地域づくり協議会の基盤であり、最大の目的でもあります。

あいさつ運動は、前記のように、地域のコミュニケーションの活性化を図り、豊かな人間関係と住みよい生活環境を築くために大切なものであります。また、子ども同士や地域の大人が率先して出会う人に声をかけることは、防犯面からも有効であると考えられます。あいさつを交わすことで、相手の顔を確認できるため、不審者の立場からすると目撃されたという気持ちになると言われています。

このようなあいさつ運動に粘り強く取り組むことにより、地域の連帯感をより強め、思いやりの心を醸成することができ、豊かな人間性を育み、明るく安全で住みよい東地域の創造につなげたいと思っています。

【あいさつではじまり、あいさつでおわる1日！】

【あいさつは、東地域の合い（愛）言葉！】

【あいさつは、いつでも・どこでも・だれにでも！】

【あかるく、いつも、さきに、つづけよう！】



自主防災訓練の実施のご案内

9月3日（日）午前8時から11時30分まで、「自主防災訓練」が予定されています。

- ◆ 訓練想定・・・氷見市において、富山湾西側断層を震源とするマグニチュード7、2の地震が発生し、津波が来るとの想定。
- ◆ 訓練内容・・・津波避難訓練、図上訓練（ハザードマップで避難ルートの検討。）
- ◆ 場所・・・・いきいき元気館広場・3階ホール
- ◆ 参加予定地域・湊、中町、浜町、新町、今町、本川、入船、向嶋
- ◆ サイレンの吹鳴時刻・午前8時
避難訓練・・・・・・午前8時
避難場所到着・・・・・・8時20分（名前記入、安否確認、集合人数確認）
自主防災会長挨拶・・・・8時25分
市長講評・・・・・・8時30分
休憩・・・・・・8時40分
意見交換会第1部・・・・8時50分（中央地区訓練参加者による図上訓練）
意見交換会第2部・・・・10時50分（今回は、中央地区役員及び北部地区役員合同で実施します。）
- 終 了・・・・・・11時30分

（文責 大嶋 充）